

たかもり農地利用最適化推進運動

農委会名：高森町農業委員会

1 地域の概要

本町は阿蘇五岳と南外輪山の間にあり、南阿蘇の中でも奥座敷といわれる静かで自然の安らぎにあふれる町である。

産業は、農林業と観光業が主体で、畑作・稻作・葉タバコ生産・畜産などで発展してきた。昭和30年代から続く高冷地野菜の栽培に加え、近年ではトマトやヒゴムラサキ、花卉の施設栽培が盛んである。

しかし、担い手不足や、高齢化に伴い、農地や農業施設の維持管理に困難が生じている。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 14人（うち認定8人、女性1人）
- (2) 推進委員数 18人（うち認定7人、女性0人）
- (3) 事務局体制 3人（うち専兼2人、再任用1人）

3 掲げた目標

- (1) 地域計画及び目標地図の素案作成（9地区）
- (2) 遊休農地解消

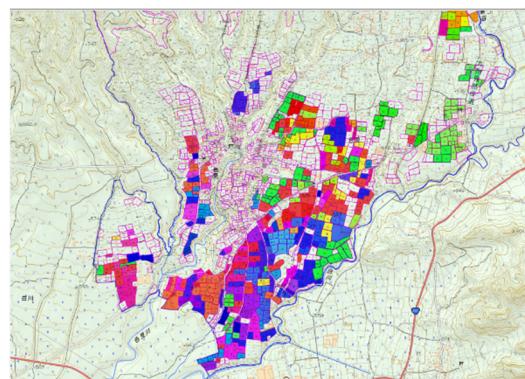
4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

令和6年度末の地域計画策定に向けて、目標地図の作成のため集落説明会を実施した。

昨年度作成した目標地図の素案を用いながら、地元委員協力のもと説明を行った



【集落説明会】



【完成した目標地図】

5 取組みの成果

- (1) 地域計画及び目標地図の素案作成

各地区の集落説明会（認定農業者、中山間直接支払活動組織、多面的機能支払組織）を実施し、その結果をもとに9つの地域計画を策定した。

（2）遊休農地解消について

農業委員が、担い手へ農地集積、耕作放棄地解消を働きかけ、農地中間管理機構を活用した貸借契約を推進するとともに、耕作放棄地有効利用促進事業を活用して再生事業、営農定着を行い、25,475m²の耕作放棄地の解消に繋がった。

【解消前】



【解消後】



6 課題と今後の方針等

地域計画については、年1回は協議の場を開催し、地域計画のブラッシュアップを行っていく。

遊休農地の解消については、担い手へ農地集積を推進するとともに事業等を活用しながら耕作放棄地解消を行っていく。